



人とともに 地域とともに  
国立大学法人

島根大学

令和 2 年 8 月 4 日

報道機関 各位

**【記者会見】**

**西日本初！本邦 2 例目の島根大学医学部附属病院での最新治療！  
“最先端デジタルテクノロジーを駆使した顎口腔腫瘍の切除と再建治療”**

**◆本件のポイント！**

・今回、**西日本初！本邦 2 例目の最新治療！**として県内在住の 20 代の大変大きな顎口腔腫瘍の患者さんへ、“**世界最先端のデジタルテクノロジーを駆使した**”顎口腔腫瘍の正確な切除と遊離腭骨皮弁による精密な再建手術を行い、患者さんの顔貌と機能の回復に成功をおさめることができました。今後、島根大学医学部附属病院歯科口腔外科・形成外科は、最先端のデジタルテクノロジーを駆使したこの最新治療を、県内のみならず、全国の患者さんへ提供します。

**◆本件の概要**

・顎（あご）や口腔（こうくう）には、口腔がんなどの悪性や良性の腫瘍が生じますが、手術による“顔貌（かお）やくちの形態変形や各種機能（食べる、飲み込む、口の開け閉め、話す、噛む等）の障害”が大きな治療の課題でした。

・近年、再建手術の手法が改良され、身体他部位から各種組織（骨や筋肉や皮膚等）を用いた形成外科的な遊離皮弁移植がなされるようになりましたが、依然として 3 次元的に複雑な“あごやくち”を回復する再建治療は全身の中で最も困難な場所の 1 つでした。

・2018 年より、当院歯科口腔外科と形成外科では、当院に設置された最新鋭の診断シュミレーションソフトや各種手術機器を用いて、腫瘍の患者さんへ最先端治療の連携を深め、地道な準備を進めてきました。

・本年 4 月からは、新規に世界最先端の“デジタルテクノロジーを駆使した”顎口腔腫瘍の切除と再建への最新システムの臨床導入を、世界に先駆けて実現しました。

**◆概要内容**

日時：2020 年 8 月 6 日（木）13：00～14：00

場所：島根大学医学部事務棟（本部棟）5 階 大会議室

出席者：

島根大学医学部附属病院長 井川 幹夫

島根大学医学部附属病院 歯科口腔外科 診療科長 教授 管野 貴浩

島根大学医学部附属病院 形成外科 診療科長 講師 林田 健志

**◆本件の連絡先**

島根大学医学部総務課企画調査係 今若

電話：0853-20-2019 Fax：0853-20-2025

Mail：mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

【添付資料： □あり（ 枚） ■なし】